

平成 26 年 6 月 3 日

各 位

会 社 名 クレアホールディングス(株)  
代表者名 代表取締役社長 黒田 高史  
(コード番号 1757 東証第 2 部)  
問合せ先 取締役 岩崎 智彦  
(Tel. 03-5775-2100)

当社子会社クレア株式会社と ION SOLAR JAPAN 株式会社との  
業務提携に関するお知らせ

本日開催の取締役会において、当社子会社であるクレア株式会社（以下、「クレア(株)」といいます。）が ION SOLAR JAPAN 株式会社（以下、「IS J 社」といいます。）と業務提携することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本業務提携契約締結の経緯および理由

当社グループの住宅関連事業におきましては、過去に全国約 8,000 棟の住宅を建築してきた実績を有しており、現在、その約 8,000 棟の住宅に向けてリフォーム事業を行っております。一方、太陽光事業におきましては、これまでお知らせしておりますとおり、当社グループ自らが建設用地を確保し、太陽光発電施設を建設するとともに、施設の分譲販売を行うビジネススキームを構築し推進しております。このような当社グループ内におけるこれまでの住宅建築実績、リフォーム営業のノウハウと、太陽光事業に取り組んできた知識を最大限活用し、当社グループの太陽光事業の拡大およびリフォーム事業の拡大を図るため、一般家庭向けの太陽光発電設備の販売体制を強化することといたしました。

現在、一般家庭向けの太陽光発電設備販売におきましては、再生可能エネルギー全量買取制度による売電価格が下落している中で、売電価格下落前のよい価格条件での提案を実現するために短期的な営業活動を行う必要性があります。このため、当社グループにより建築した住宅が西日本を中心に所在していることを勘案し、西日本を中心とした営業活動が可能で、かつ営業力をもっている IS J 社と、当社グループの窓口として、太陽光発電設備のメーカーであるクレア株式会社が、住宅用太陽光発電システムの販売における業務提携を行うことといたしました。一般家庭向けの太陽光事業におきましては、従来、モジュール等の太陽光発電機器を軸に提案してまいりましたが、本提携により、当社グループがこれまでに建築した全国約 8,000 棟の住宅の顧客に対し、IS J 社が、住宅用太陽光発電設備設置を核とした「スマートハウス(※1)」への転換の提案として、太陽光発電機器、施工、保証・メンテナンス等をパッケージ化した太陽光発電システム「クレアソーラー」の販売を行います。なお、IS J 社は、太陽光発電のシステムインテグレーターとして太陽光発電設備の販売だけでなく、施工においても豊富な実績を有しています。

※1 IT（情報技術）を使って、太陽光発電システムや蓄電池などのエネルギー機器、家電、住宅機器等をコントロールすることにより、家庭内のエネルギー消費が最適に制御された住宅。

2. 業務提携先の概要

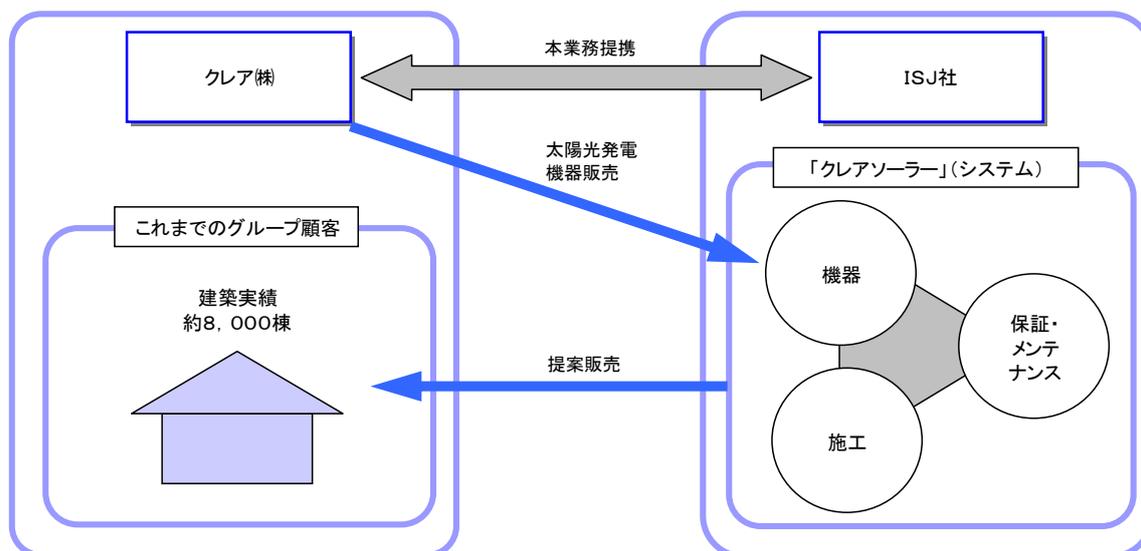
太陽光発電のシステムインテグレーターとして、太陽光発電設備の販売から施工までを手掛ける太陽光発電の総合専門会社です。電力の小売自由化に伴い、今後、特定規模電気事業者（新電力）の届出を行い電気の供給事業に参入していく等、総合クリーンエネルギー

一企業としての取り組みを行っています。

会社名	ION SOLAR JAPAN株式会社 (イオンソーラージャパン株式会社)
所在地	名古屋市中区丸の内二丁目16番3号 丸の内A・Tビル8階
代表者	玉井 俊康
主な事業内容	クリーンエネルギー関連機器の販売及び施工
資本金	3,000万円
設立年月日	2012年 12月
当社との関係	資本関係、人的関係及び取引関係はありません。 また、関連当事者への該当事項もありません。
売上高	293百万円 (2013年12月期)

### 3. 業務提携の概要

- ① 当社グループのこれまでの顧客情報を、顧客の同意を得た上でクレア㈱に集約し、クレア㈱がISJ社に顧客を紹介する。
- ② ISJ社は、上記紹介を受け、住宅用太陽光発電システムの販売の役割を担う。
- ③ モジュール等の太陽光発電機器の商流（売買）については、別途取り決めを行う。



### 4. 日程

取締役会決議日	平成26年 6月 3日
契約締結日	平成26年 6月 3日

### 5. 業績に与える影響

本件業務提携契約に従って業務を遂行することによる当社業績への影響につきましては、実績を積み上げた上、当社の業績に重大な影響を与えることが判明した場合、適宜お知らせいたします。

以上